

CO₂削減マニフェスト(取組内容)

大項目	小項目	具体的取組	2030年度までの数値目標
事業所の省エネ	エネルギー管理体制	環境安全衛生委員会の設置による着実な環境経営の推進。	
		「ムリ・ムダ・ムラの削減」、「省資源・低エネルギー化」を推進、業務効率の改善。	
		各工場の省エネ診断の実施。	2工場/年のペース (2027年完了予定)
	空調・換気	空調機器の設定温度などを適切管理。	基本設定 夏季:28度、冬季:19度
		スーパー・クールビズ及びウォームビズの実施。	5~10月、11~3月
	ボイラー・給湯	該当なし	
	照明・昇降機	照明の点灯区画の限定等による不要点灯の削減。	
	事務用機器・業務用機器・産業用機器	産業用・OA機器の効率的な使用を実施。	
リース更新時に合わせてBDF使用重機に順次切り替え。 (リース価格安定後、EV・FCVも導入予定。)		切り替え開始時期:2022年~	
省エネ型の産業用機器導入			
再生可能エネルギー・コージェネレーションシステム・建物の断熱等・BEMS	県内全工場での再生可能エネルギー由来の電力導入。	2028年まで	
自動車	エコドライブ運動・車両入れ替えによる燃費向上。 基準値:R1年度 20.89(km/l)	燃費10%(22.98km/l)向上	
	リース価格が採算ラインに乗り次第、EV・FCV車への順次切り替え。	切り替え開始目安:2028年~	
低炭素な製品・サービス	購入	グリーン購入(環境配慮型製品・サービス)の実施。 基準値:R1年度 35.7%(金額ベース)	グリーン購入率 45%
	製造・販売・提供		
運送・廃棄	木質バイオマスのマテリアル・リサイクルの選別徹底。		
従業員教育・社会貢献	従業員への啓発	環境安全衛生委員会の月間活動に全従業員で取り組む。	
		全従業員のeco検定取得。 (R3年9月時点取得率:46.8%)	2030年度までに取得率100%達成
	社会貢献	環境報告書(統合レポート)の発行、公開。	毎年7月末に発行
災害廃棄物(木質系廃棄物)の受け入れ支援。			
その他	廃棄物選別へのとロボット(AI)導入。	本格導入:2024年予定	